

会 議 記 録 (1)

会議名称	平成30年度第1回北本市総合教育会議
開会及び閉会日時	平成30年8月23日(木) 午後3時30分から午後4時52分まで
開催場所	北本市役所会議室3-F
議長氏名	北本市長 現王園 孝昭
出席委員(者)氏名	教育長：清水 隆、教育委員(教育長職務代理者)：大保木 道子 教育委員：金井 裕、教育委員：安田 美詠子 教育委員：鈴木 義信、教育委員：久保田 篤正
欠席委員(者)氏名	
説明者の職氏名	企画財政部長：田中 正昭、企画財政部企画課長：長嶋 太一 総務部契約管財課長：山崎 寿、教育部長：原口 穰 教育部副部長兼文化財保護課長：磯野 治司 学校教育課長：草野 智広、学校教育課副課長：野本 慶人 生涯学習課課長：平井 巖
事務局職員職氏名	教育部参事兼教育総務課長：大島 衡基(司会) 教育総務課管理係長：山本 一真(書記)
会議次第	1 開会 2 市長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 出席者紹介 5 議題 (1) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告について (2) 北本市立学校の適正規模等に関する基本方針について(報告) 6 その他 7 閉会
配布資料	ア 資料No.1 教育委員会の事務に関する点検評価報告書 イ 資料No.2-1北本市立学校の適正規模等に関する基本方針の検討経過等 ウ 資料No.2-2北本市立学校の適正規模等に関する基本方針策定スケジュール概要(案) エ 資料No.2-3北本市立学校適正規模等研究会議設置要綱及び構成員 オ 資料No.2-4北本市立学校適正規模等研究会議協議・研究事項の予定等 カ 資料No.2-5北本市立学校の適正規模等に関する基本方針(素案)の構成一覧(案) キ 資料No.2-6「学校規模等に関する意識調査」実施報告書

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
教育部参事兼総務課長	1 開 会 定刻となりましたので、只今から、「平成30年度第1回北本市総合教育会議」を開会いたします。次第に従いまして現王園市長より、ご挨拶をお願いいたします。
市長	2 市長あいさつ (市長あいさつ)
教育長	3 教育長あいさつ (教育長あいさつ)
教育部参事兼総務課長	4 出席者紹介 続きまして、本日の会議出席委員及び事務局職員の紹介をさせていただきます。 (教育委員の紹介、事務局職員の紹介)
教育部参事兼総務課長	5 議題 それでは、本日の協議事項に移りたいと存じます。なお、協議事項の進行につきましては、「北本市総合教育会議運営要綱」の第4条第1項の規定に基づき、市長が議長を務めることとなっておりますので、進行につきまして、よろしくをお願いいたします。
市長	只今の事務局のご案内のとおり、議長を務めさせていただきますので、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。
市長（議長）	それでは、本日の協議事項に入らせていただきます。本日の議題は次第にお示ししています2件でございます。 なお、議題(1)及び(2)ともに、地域の実情に応じた教育の振興を図るための重点的な施策に関する諸報告としまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第一条の四第1項第一号に掲げる協議事項となりますので、よろしくをお願いいたします。
市長（議長）	まず、議題(1)の「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告について」事務局より報告及び説明をお願いいたします。
	(1) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告について
教育部長	(議題(1)の報告・説明)
教育部参事兼総務課長	(議題(1)の報告・説明)
学校教育課長	(議題(1)の報告・説明)
生涯学習課長	(議題(1)の報告・説明)
教育部副部長兼文化財保護課長	(議題(1)の報告・説明)
市長（議長）	只今、議題(1)の「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及

<p>大保木委員</p>	<p>び評価の報告について」事務局より報告及び説明がございました。</p> <p>当該報告書の内容につきましては、既に教育委員の皆様もお目通しの上、確定いただいたものと存じますが、あらためて教育施策大綱に基づく教育施策の点検及び評価に置き換えていただきますとともに、今後の教育施策等の展望などについて、何かご意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p>報告書P55の「外部評価者講評」に掲載しますとおり、北本市の教育に対して、外部評価者のお二方から、ありがたい評価をいただいていることを、すごく嬉しく感じています。</p> <p>教育委員の仕事の一つとして、市内小・中学校を訪問させていただいておりますが、授業の様子などを拝見すると、子供達も落ち着いていて、しっかり授業を受けられるような状況・体制となっています。</p> <p>学校の先生方も、たいへん熱心に指導されていますが、どうすれば、このように落ち着いて授業を進められるのかと、あらためて考えてみた場合、やはり「学校4・3・2制」の取組の効果と、少人数学級の編制による「きめ細かな指導」の効果が背景にあり、大きな理由になるものと考えられます。</p> <p>こうした取組を進めていく中で、市費による教員等を増やさざるを得ない状況もありますが、その分、高い成果を挙げていることが、この「外部評価者講評」の中からも読み取れるものかと思えます。</p> <p>こうした取組には、多くの予算等を伴いますが、北本市の教育の中で、一番自慢できる部分とも考えられますので、是非、こうした取組が続けられるよう、ご配慮をお願いします。</p>
<p>市長（議長）</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>教育長</p>	<p>私も、今の大保木委員の意見と同じように考えています。</p> <p>就任してから未だ一月半としか経たないのですが、北本市では、小・中学校が一貫して教育を行っている印象を受け、この「学校4・3・2制」をはじめとした、各取組の効果によるものかと思われます。</p> <p>この制度の理念といった大きな枠の部分としては、まだ研究の余地もあるかと思えますが、取組自体の考え方が良いものであり、その中でも「きめ細かな指導」については、今後も推進していきたいと考えています。</p> <p>世間では「中1ギャップ」の問題がよく取り沙汰されますが、この「学校4・3・2制」の取組により、北本市ではそれを乗り越えることができ、さらには、報告書P55の外部評価者の講評の中で、「異校種間連携の推進」では、学級満足度が高い評価が得られた」と記載するその実績の証として、先程の説明の中にもございましたが、この満足度調査が他市と比べ、20ポイントも高い実績を残していることは、本当に特筆すべきことで、凄いことだと思っています。</p> <p>今後は、知識・技能といった「認知能力」のみならず、生きる力といった「非認知能力」についても、21世紀の教育の中で、大事に育んでいくものとなります。</p> <p>そういう意味では、その素地を培うものが、こうした北本市の特色ある取組の中に根ざしているものと、私も感じているところです。</p>
<p>市長（議長）</p>	<p>ありがとうございます。他にはございませんか。</p>
<p>安田委員</p>	<p>これまで、開設を順次進めてきた特別支援学級が、現在では全ての学校に設置されるようになり、とても素晴らしいことだと思います。</p> <p>先生方の小・中合同研修では、他校の問題等について情報を共有し、対応に当たっていることから、特別支援学級についても、同様の対応に配慮していただければと考えています。</p>

鈴木委員	<p>特別支援学級という「器」が整っていても、先生方が上手く対応できなかったりする場合も考えられ、先日も文化センターで、発達に問題等がある子供との接し方を学ぶ研修がありましたけど、そういう子供たちと実際に関わってみないと、わからない部分もあるかと思います。</p> <p>文科省調査によると、普通学級において、発達に問題等がある子供の割合が、全体の6.5%を占めるとも言われ、1クラスあたりでも、二三人はそうした子供がいるとも推測されます。</p> <p>こうしたことから、特別支援教育の分野につきましても、学校間で情報共有を図りながら、総合的に進めてほしいと感じています。</p> <p>私は学校給食の「地産地消の推進」に着目しました。北本市の学校給食の献立が非常に評価されているということで、今後もこれをさらに進め、北本産トマトをはじめとした地場産物の学校給食への使用について、さらに推進していただければと考えております。</p> <p>この取組は非常によかったですと思っています。</p>
金井委員	<p>最近、健康のため、休日に「さくら公園」へよく行くようになりまして、この間も偶然、市長さんとお会いしたのですが、その中から「野外活動センター」の話題について、少し触れさせていただきます。</p> <p>今までも来場者は結構いたのですが、今回、バンガローが新設されたことで、小さいお子様連れの家族の姿をよく見かけるようになりました。</p> <p>今回のバンガロー設置については、非常にありがたい事業であったということが私の感想です。今後も、この「野外活動センター」の素晴らしい自然とバーベキュー場を活用していただいで、市民の方も含め、市外の方々に対し、北本市の魅力を発信できる場の一つになることを願っています。ありがとうございました。</p>
市長（議長）	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p>
久保田委員	<p>昨年度は「中学校教育用PC更新事業」を実施していただきました。</p> <p>学校のIT環境を整えるということは、学校と家庭間の密接なコミュニケーションを構築するものと考えていますので、今回の整備はとてよかったですと思います。さらに新しい情報機器を導入いただければ、よりよい教育環境が整えられるのではないかと考えておりますので、よろしくをお願いします。</p>
市長（議長）	<p>ありがとうございます。</p>
市長（議長）	<p>今、パソコンの話題がありましたが、現在はパソコンよりタブレット端末を使ったICT教育の時代と考えられます。</p> <p>予算編成の時期にも議論を重ねたのですが、色々なことを踏まえた結果、今回はパソコンのリプレイス・増設ということで進めたものとなります。しかし、ICT教育を今後推進していく上で、タブレット端末にシフトするタイミングが、予算面の上でも課題になるかと考えられます。</p> <p>また、「野外活動センター」につきましても、先ほど金井委員がお話しされていまして、本当に需要が多くなってきています。</p> <p>今後は、子供たちの遊び場なども含めまして、この施設をさらに活用していきたいと考えています。</p> <p>例えば「野外活動センター」を拠点とし、隣の「水辺プラザ公園」とセットにして物事を考え、現在進めています「森林セラピー事業」とも連携しながら、周辺の緑と自然、そして地元の方々と一体となった取組として、総合アウトドア施設のようなものを作れば、市の活性化につながるかと考えています。</p>

	<p>是非とも、皆様方のお知恵を拝借しながら、それらを進めていければと考えていますので、よろしくお願いします。</p> <p>(他に意見なし)</p>
市長（議長）	<p>色々と貴重なご意見いただきありがとうございました。他にもあるかと思いますが、当該議題資料となります「点検評価報告書」及び事務局からの報告事項に基づき、あらためて教育施策大綱に基づく教育施策の点検及び評価として、ご承認ということによろしいでしょうか。</p> <p>(全員、異議なしの声)</p>
市長（議長）	<p>それでは、議題(1)の「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告について」につきましては、承認とさせていただきます。</p>
市長（議長）	<p>続きまして、議題(2)の「北本市立学校の適正規模等に関する基本方針について（報告）」について、事務局より報告及び説明お願いいたします。</p> <p>(2) 北本市立学校の適正規模等に関する基本方針について（報告）</p>
教育部長	<p>(議題(2)の報告・説明)</p>
市長（議長）	<p>只今、議題(2)の「北本市立学校の適正規模等に関する基本方針について（報告）」について、事務局より報告及び説明がございました。各報告事項につきまして、何かご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
鈴木委員	<p>アンケートの回答結果について、全般的に見ると、未就学児保護者、児童生徒保護者、教員の方々の考え方が、大体一致していますね。</p> <p>1学年あたりの学級数や、1学級あたりの人数に対する考え方なども、ほぼ一致しているところがあるので、この考えに基づく学校規模が、適正と思われる規模になるとも考えられます。</p>
金井委員	<p>今回、細かい視点に立ったアンケートを作っていただき、また、設問の設定もよく出来ていて、たいへん参考になる調査が実施できたと思っています。</p> <p>調査の対象者については、先ほど鈴木委員からもお話がありましたけど、児童生徒保護者、教員、そして、今後に就学を予定する未就学児の保護者の方々に問うということで、対象範囲を広げたその観点についてもよかったと思います。</p> <p>回答の中で、保護者と教員の考え方が、微妙にずれてくる部分もあるのですが、概ね、少ない人数での授業を希望する傾向にあるのかなと感じました。</p> <p>学級数について、小学校では単学級よりも複数の学級数を好み、2クラス以上で構成されることを望む傾向にあります。</p> <p>そして少し驚いたのですが、中学校では、4学級から6学級位の構成を保護者の方が多く希望しているようです。クラス替えや大人数で競い合う部分も含めての考え方として、保護者・教員とも、4学級から6学級位の構成を望んでいることがうかがえます。</p> <p>小学校について、現状では満足しているかもしれませんが、中学校の学級編制や学級数については、部活動などを含め、特性的な部分もあることから、保護者の方も現状とは異なる考え方や希望があるものかと、このアンケートの結果から見えてくると思います。</p>

	<p>その一方で、通学距離については、自転車などの交通手段も含め、2 kmから4 kmまでを許容範囲とするなど、距離に関し、寛容な考え方であることがうかがえます。</p> <p>自転車の場合、距離の対応に関しては男女ともあまり差はないものかと思われませんが、児童生徒保護者の中では、4 kmまでを許容範囲とする回答が一番多い結果となっています。</p> <p>この結果について、北本市の地理条件と照らし合わせた場合、通学距離に関する心配は、現在のところ見受けられないものと考えられます。</p> <p>いずれにしても学校規模に関しては、ある程度の少ない人数できめ細かく指導していくことを望まれ、先ほどの議題の中にもありましたが、中1ギャップ等の対応も含め、北本市の特色ある教育の良い部分を、引き延ばしていくことが重要と考えられます。</p> <p>適正な学校規模等の模索に際し、様々な課題はあるかと思いますが、中学校生徒保護者の考え方を察した場合、親として色々と望むところが多いのかなど、今回の結果から受け止めました。</p>
市長（議長）	ありがとうございます。他にはございませんでしょうか。
大保木委員	ここで簡単にまとめますと、クラスの中ではある程度の少ない人数で丁寧に指導してもらいたい、しかし、クラス数は沢山あることを望み、そうした環境の中で、部活動や学校行事等を活発に行いたいと、このアンケートの結果から、そのような意向が示されていると思います。
市長（議長）	教員の方の回答の中で、未回答の割合が多い設問も見受けられ、とても気掛かりです。
大保木委員	法令により、標準学級といった目安があることから、立場上、答えにくい部分もあるかと思われます。
市長（議長）	さらに選択肢を追加するなど、設問の設定や分岐に関し、もう一工夫あると、なおよかったかもしれませんね。
教育部長	報告書P16の設問4(2)「中学校の学級数(学校規模)について」のように、前の設問からの分岐先となる問いに関しては、分岐元の回答結果にもよりますが、かなりの少数派に対して問うものとなる場合もあります。その場合、未回答が一人か二人位であっても、全体の割合としては、極端に高くなってしまうこともあります。
市長（議長）	もちろん、そのことは理解しますが、やはり教育の立場、そして子供たちの立場で考えた場合、教員の方に対しては、100%の回答率を期待してしまいます。
教育部長	特に中学校では教科担任制となることから、この設問に対し、「1学年あたり1学級」と選択するに際しては、それ相応の理由があると思われる。小学校であれば、1学年1学級に対し、教員1人がいれば全部を教えられるのですが、これを中学校に置き換え、1学年1学級による構成、すなわち、学校全体で3学級しかない場合、教員も3人・3教科となる訳ですから、この回答を選択した方が、さらに未回答とすることは、決して良いこととは思っていません。
教育長	この報告書については、未就学児保護者、児童生徒保護者、教員の方々に対し、あえて同じ設問を用意することで、3者の考え方を同時に推察するといった調査趣旨から、3者の回答結果を並べるフォーマットとするものです。このため、その回答結果によっては、市長が言われるように、数字が歪んだように見える部分もあります。

市長（議長）	それでも教員の方の回答の部分にあっては、全て100%であってほしかったと、個人的に思いました。
金井委員	この調査は「標本抽出調査」ですから、今のレアケースのような部分により、全体の回答結果が大きく左右されることはないと思います。
市長（議長）	他に何かございましたら、お願いします。 (他に意見なし)
市長（議長）	<p>それでは、よろしいでしょうか。</p> <p>この報告書に掲載する調査結果につきまして、また色々な形で今後活用していきたいと思います。</p> <p>ご承知のとおり、既に10人を切っているクラスがある学校もございます。こうした状況を踏まえ、子供たちのために、北本市の適正な学校規模というものを考えていただきたいと思います。大事なものは、大人の目線ではなく、子供たちの目線に立って考えながら、よりよい教育環境を確保することであり、義務教育の原点であると思っています。</p> <p>文科省においても、小規模校には教育上の弊害が多いと指摘する部分もあり、同省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」の中では、想定される様々な弊害について記されています。</p> <p>やがて子供たちが成長し、社会に出るに際し、それまでの小・中学校において経験すべき多様な機会を提供できないということは、義務教育として適切とは言えないとも考えられます。</p> <p>また、学校統廃合に際しましては、様々な課題等もあることから、統廃合に反対することも考えられますが、大事なことは、子供たちにとって、よりよい教育環境を確保することだと思います。</p> <p>長期的視野に立ち、望ましいと考えられる小・中学校の規模については、関係法令の中においても、標準とする学級数や、1学級当たりの人数等について規定し、通学距離についても、適正と考える概ねの距離を定めています。</p> <p>こうしたことを踏まえながら、今後の小規模校への対応としまして、今の子供たちに一番必要と考えられる、一定規模による集団生活を送れるような学校規模について、定める必要があると感じていますので、是非、よろしくお願いします。</p>
市長（議長）	その他に、お気づきの点がございましたらお願いします。
鈴木委員	<p>市長さんのお話の中で「子供の目線」とありましたが、この目線というのは、どのように見ればよいのでしょうか。</p> <p>文科省の手引に記されている事柄等については、皆、大人の目線から客観的に見たものと思われま。</p>
市長（議長）	<p>少子化や世帯構成の変化から、家庭の内・外を含め、子供たちを取り巻く環境は本当に大きく変わりました。昔であれば、子供たちが周りにいっぱいいて、色々な形で、互いに社会勉強を行えてきた部分もあるかと思えます。</p> <p>しかし、現在では学校においても、子供たちが少なくなり、こうした社会勉強を含め、教育活動の中で刺激し合い、競い合うことが少なくなっているように感じられます。</p> <p>やはり、ある程度の人数の中で揉まれながら、色々なルールや社会性を学んでいくことが、私は一番大事であると考えています。</p>
大保木委員	しかし、それは大人が望む教育環境であり、やはり大人の目線である

	<p>とも考えられます。今、鈴木委員が問いかけられた子供の目線というのは、「子供の気持ちを聞く」ということで理解してよいか、ということだと思います。市長さんが子供の目線とおっしゃるときの、考えや気持ちについて、お聞きしたいと思います。</p>
市長（議長）	<p>子供に直接聞くことも大事ですが、子供の気持ちになって、色々なことを考え、進めていきたいということです。</p>
大保木委員	<p>その上で、子供にとって、よりよい環境を大人たちが作るということですよね。</p>
市長（議長）	<p>はい、そういうことです。 ただ、物事には限られている部分もあり、その中で、よりよいものを作っていくにはならない訳ですから、皆様にも色々ご協力をお願いしたいと考えております。</p>
教育長	<p>子供の目線ということで話題に挙がりましたが、今言われているようなことは、教育委員の皆さんにも常にお考えいただき、この報告書の作成に到るまでにも、大人としたらどうなんだろう、でも、これは子供にとってどうなんだろう、というようなことを議論されています。 私は就任して未だ間もないのですが、このことを実感しております。 学校の適正規模等を模索するに際し、その研究を行う会議を設置しましたが、望ましい学校教育の環境を整備していくため、どう考えていくのかと、この研究会議委員の皆さんにも、本当に真剣に考えていただきながら、その研究を進めているところです。 その他にも色々な視点や考え方、さらには国・県との関係もあることから、我々ももう少し視野を広げ、物事を考えていかなければならないと思います。 こうした中において、今回のアンケート調査を実施した訳ですが、この調査結果から物事の全てを結論づけるのではなく、報告書の標題にもありますとおり、あくまで3者の考え方の傾向を分析するものだと、教育委員の皆さんから助言をいただき、この報告書を作成したものであることを、この場を借りてお伝えさせていただきます。</p>
市長（議長）	<p>ありがとうございます。 その他にご意見等がなければ、事務局より報告のありました、北本市立学校の適正規模等に関する基本方針について、各種手続きの状況等に関しまして、ご承認ということでよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（全員、異議なしの声）</p>
市長（議長）	<p>それでは、議題(2)の「北本市立学校の適正規模等に関する基本方針について（報告）」につきましては、承認とさせていただきます。</p>
市長（議長）	<p>以上をもちまして、本日の議事はすべて終了いたしました。 ここで、議長の任を解かせていただきます。円滑な議事進行にご協力賜り、誠にありがとうございました。</p>
教育部参事兼総務課長	<p>6 その他 それでは次第の5「その他」でございますが、議事内容以外の意見交換の場とさせていただきます。ご意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（特に意見なし）</p>

教育部参事兼総務課長	7 閉会 以上をもちまして、本日の会議はすべて終了いたしましたので、平成30年度第1回北本市総合教育会議を閉会といたします。慎重なご審議賜りありがとうございました。
議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。 平成30年9月21日 会長(北本市長) <u>理五園孝昭</u>	